**令和６年度　第１回大阪府周産期医療及び小児医療協議会　周産期医療体制検討部会**

（会場とオンライン併用のハイブリッド開催）

・日時：令和６年７月30日(火)　15時00分から16時00分

・委員出席：９名出席（委員総数９名）

【事前説明】

・大阪府情報公開条例第33条に基づき公開で実施する。

**■検討事項**

**（１）今後の協議会及び部会の検討事項について**

（資料１－１に基づき、事務局から説明）

**（２）大阪府周産期関連事業について**

　（資料１－２に基づき、事務局から説明）

【主な意見・質問とその回答】

（意見）外国人観光客や短期滞在者の増加、さらに万博開催を見据え、外国人が利用可能な制度等を改めて関係団体への情報提供する必要がある。

（意見）希少言語の対応に苦慮しているため、方策を検討していただきたい。

**（３）妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業について**

（資料１－３に基づき、事務局から説明）

【主な意見・質問とその回答】

（意見）妊婦の精神科救急の受け皿は現実的には課題が大きいので、この事業で解決に向けて進めたいと考えている。

（意見）軽症の精神疾患合併妊産婦の管理は、診療所とも連携していく必要がある。

**（４）分娩を取扱う医療機関の現状について**

（資料１－４に基づき、事務局から説明）

【主な意見・質問とその回答】

（意見）分娩に関する機能分化が進む際は、行政側からも支援していただきたい。

（意見）分娩数の減少だけではなく、妊産婦のハイリスク化も考慮する必要がある。

（意見）府全体として、周産期医療に関する産婦人科医の技量を維持することも重要。

**（５）その他**

　（意見）今後、急性呼吸器感染症（ARI）が５類感染症となるため、妊婦のARIも注視する必要がある。

　（意見）妊婦の劇症型溶血性レンサ球菌感染症も、引き続き注意喚起が必要。

閉　会